

## 2-2 広報誌などの出版物による情報発信

広報誌などの出版物は、伝えたいことを限られたスペースに凝縮し、伝えたい相手を選んで配布する、「攻めの媒体」だといえます。それだけに、ターゲットを明確に定め、伝える内容を吟味すること、さらには一見してわかる魅力を演出することが、特に大切になります。その意味では、印刷媒体だけでなく、メールマガジンなどの電子広報媒体の多くも、ここに含めて考えることができるでしょう。

### (1) 社会や生活との関わりから科学にアプローチ

#### ① 小学校の女性教員を読者に想定し、「生活からの科学」を届ける

科学技術振興機構（JST）が発行する「Science Window」は、理科教育に携わる人向けの情報提供を主眼とする月刊誌です。メインターゲットとして「小学校の女性教員」（理系出身ではない人が多い）を想定し、身近な自然、衣食住など日常生活から科学につながる話題を届けています。子どもの新鮮で素朴な疑問とともに考え、ともに理解するための内容構成となっています。

#### ■ 「Science Window」の目次内容例

02	似姿違質 食用キノコ VS 毒キノコ
04	特集 月といのち
06	生活のなかに残る月の暦
08	月のシグナルがいのちをつなぐ
10	大潮に産卵するカブトガニ
12	潮の満ち干はなぜ起きる
14	月の満ち欠けを再現しよう
15	月をめぐる Q&A
16	遙かなる宇宙へ 再び月を足がかりに
18	地域とつながるミュージアム 学校と連携、展示物に頼らず実体験で魅力を伝える 岐阜県先端科学技術体験センター
21	とっておきの一冊 『こぐま園のプッチー』室伏きみ子
22	発見！暮らしのなかの科学 紙と水との意外な関係／浄水器のなかはどうなっているの？
24	イチから伝授 実験法 サバで解剖授業
26	光っているひと 三上周治
28	せんせいクラブ 若手先生の本音トーク座談会
30	情報ひろば
32	シリーズ MADO 秋吉台科学博物館

(出典) 科学技術振興機構「Science Window」(見本号：2006年10月)

## ② 身近な題材との関連で解説

産業技術総合研究所（産総研）が一般および青少年向けに発行している広報誌「SAN-SO-KEN」は、産総研の研究だけでなく、現在の産業技術・科学技術をわかりやすく紹介しています。扱っているテーマは、ライフサイエンス、IT エレクトロニクス、環境・エネルギー、ナノテクノロジー・材料・製造、地質、標準・計測などの産総研の研究分野ですが、その中でも社会や生活と関連の深い分野を重点的に取り上げています。

## (2) 研究に携わる「人」から科学技術にアプローチ

### ① 研究に従事する人の思いや行動を取り上げる

宇宙航空研究開発機構（JAXA）では、「JAXA's」という広報誌を発行しています。この広報誌は、よく一般雑誌にみられるように、時の人（話題を提供する各分野の研究責任者）の写真を表紙にしています。「人」に焦点を当てる視点から、研究に取り組む人が何を考え、どのように行動しているのか、成果があがるまでにどのような葛藤やトラブルがあったのか、といったさまざまなエピソードを記事として紹介しています。

「JAXA's」は、宇宙事業の全てを伝えるというよりは、むしろフラッシュニュース的な伝え方を意識して編集されています。また、JAXA はこれから何をすべきか、という視点も取り入れられています。

### ■ 「JAXA's」の編集方針（JAXA's 001 「JAXA's の発行にあたって」より）

これまでも、新聞や雑誌、テレビ、インターネットなどを通じて、JAXA の研究開発の成果をご存知かもしれません。しかし、ロケットの打ち上げの裏には、最先端の技術、関係者の熱い思い、そして多くのドラマがありました。これらについてはあまり知られていないのではないのでしょうか。これからのプロジェクトでも同じです。私たちは、みなさまに JAXA のことをもっとよく知っていただきたいと考えています。JAXA の人、JAXA の技術、JAXA のすべてを、この JAXA's に込めて機関誌「JAXA's」をお届けしたいと思います。

（出典）JAXA's 001（宇宙航空研究開発機構）

## (3) 読者との対話を通じた関係づくり

### ① 読者からの情報を活用するとともに、編集者の顔が見えるよう配慮

農業食品産業技術総合研究機構（NARO）が発行している「ほぼ週刊メールマガジン 果物&健康 NEWS」<sup>1</sup>では、読者から提供された情報を記事として活用するとともに、編集担当の研究員が編集後記を自分の言葉で（組織の言葉でなく）書いています。同ニュースでは、このような対話を通じて、読者との関係を育てています。

<sup>1</sup> 農業食品産業技術総合研究機構「ほぼ週刊メールマガジン 果物&健康 NEWS」、<http://www.kudamononet.com/Kudamono&Kenko/>

## ■ 「ほぼ週刊メールマガジン 果物&健康 NEWS」のメニュー例

… ■ メニュー ■ ……………

- ◇ くだもの健康豆知識: マラソンと果物
- ◇ 今週のレシピ: みかん料理レシピ
- ◇ メイヨ・クリニックのダイエットプログラム
- ◇ 品種紹介: カンキツ「朱見(あけみ)」
- ◇ 読者から: 酸っぱい夏みかんと印度りんご
- ◇ 読者から: 果物(りんご)摂取と認知症について
- ◇ 読者から: リンゴ栽培の動画ー第二部ー
- ◇ 果物花だより: 紀州田辺梅林
- ◇ 今日は何の日: 2月16日西行忌
- ◇ 編集部より

読者からの  
情報提供

編集者の  
言葉

(出典) 「ほぼ週刊メールマガジン 果物&健康 NEWS」 Vol.139

科学技術館の「科学技術館メールマガジン」<sup>2</sup>も、職員や講師などが執筆するエッセイ「科学・技術よもやま話」を掲載するなど、身近さを感じさせる媒体となっています。

### (4) ユニークで魅力的な体裁を工夫

#### ① カード型の広報誌に遊び心を載せる

JT 生命誌研究館では、独特のカード型広報誌を季刊で発行しています。1枚のカードに1つの話題を簡潔にまとめて記載し、それぞれの話題に関する詳しい内容は Web サイトに掲載しています。遊び心を刺激する仕掛けも施されており、例えば 2007 年春号では、「オオバコが語る日本人の自然観」と題した卓上カレンダーにオオバコのポップアップ（飛び出す仕掛け）がついているほか、カードの一部が切り取り可能な絵葉書になっています。

### ■ JT 生命誌研究館のカード型広報誌と付録



(資料提供) JT 生命誌研究館

<sup>2</sup> 科学技術館「科学技術館メールマガジン」、<https://www3.jsf.or.jp/mailmaga/menu.asp>

## (5) 豊富なビジュアルリソースを最大限に活用

### ① 現場を持っている強みを活用し、印象的な写真を多用

海洋研究開発機構（JAMSTEC）は、海洋地球科学に関するオールカラー情報誌「海と地球の情報誌 Blue Earth」を発行しています。同機構の研究成果でもある写真や図を豊富に活用し、最近の研究成果・技術開発などをわかりやすく紹介しています。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の「JAXA's」も、同機構ならではのビジュアルリソースをふんだんに活用した紙面構成となっています。

### ■ 「海と地球の情報誌 Blue Earth」の表紙・内容例



「海と地球の情報誌 Blue Earth」2007年1-2月号  
(資料提供) 海洋研究開発機構

### ☞ チェックポイント

- ① 広報誌のターゲット（対象）は明確ですか。
- ② 広報誌で扱うテーマ・内容は、ターゲット層の関心・ニーズに合っていますか。
- ③ 研究内容そのものだけでなく、研究と社会や生活との関係や、研究をめぐる人間ドラマなどに焦点を当てた記事が掲載されていますか。
- ④ 文体や用語は、一般の人でも理解できるように配慮されていますか。
- ⑤ 読みやすさに配慮したレイアウトになっていますか。
- ⑥ 手にとってもらえるような、魅力的な体裁になっていますか。利用可能な写真などは、十分に活用していますか。
- ⑦ 読者との対話機会・手段が確保されていますか。
- ⑧ 広報誌があることは、十分に周知されていますか。
- ⑨ 広報誌の配布ルートに不備はありませんか。
- ⑩ 広報誌に対する評価を行い、改善に役立っていますか。